



# 1学年通信

# 信濃の水

2016/08/22 第8号

## 夏休み終了！

短い夏休みが終了です。スポーツ科学科の生徒の中には、長野県外出身のおり、「えっ」と思っている人がいます。地域の事情があるので、各自治体（都道府県・市町村）に任されています。

私が思うに長野県では、授業日に加え行事日が多いのかもしれません。飯山高校は4月に入ってから、時間割に設定されている授業だけで一週間続いたということが少ないです。人権学習や交通講話などの講演会、芸術鑑賞やPTA総会などの学校行事、クラスマッチや文化祭などの生徒会行事。どれもこれも、皆さんの成長にとって大切なものだと考えています。クラスマッチや

文化祭は、普段（授業の中）では見られない力を生徒諸君が発揮します。働き出したら（今も当てはまるかもしれませんが）言われたとおりにするだけでなく、先を見通し工夫していく力、ほかの人と協調することや協力する力が必要となります。そんな力を養うために行事が多いのではないかと考えます。

皆さんにとっては、「夏休みが短い」とマイナスな気持ちになるかもしれませんが、少し感じ方を変えてみたら変えてみたらどうでしょう。しばらくぶりに仲間や先生と会うことが楽しみだ。なんて考えたらどうですか。**無理がありますか。**

今日から学校が始まります。休み気分から授業モードに切り替えて、飛ばし過ぎずぼちぼち慣らしながら、まだまだ暑い8月の授業を乗り越えていきましょう。

## 行事が盛りだくさんの9月・10月へ！

9月には、生徒会役員選挙・秋の連休・中間テスト、10月はクラスマッチ・強歩大会・サイエンスツアー（2年生は台湾研修旅行）、運動部は、北信新人戦などなど。

私の中では、9月・10月はあっという間に過ぎてしまい冬休みのことを考えなければと気分です。

## 8月・9月の予定

8 月	
22月	始業式 課題確認テスト
23火	課題確認テスト
24水	
25木	
26金	外掃
27土	○
28日	○ 全統記述(3年)
29月	
30火	
31水	

9 月	
1木	
2金	
3土	○
4日	○
5月	
6火	
7水	
8木	保健講話
9金	PTA評議員会②
10土	○
11日	○
12月	
13火	
14水	
15木	立会演説会・選挙
16金	
17土	○ ベネッセ駿台マーク(3年)
18日	○
19月	○ 敬老の日
20火	
21水	
22木	○ 秋分の日
23金	月①②③⑤⑥⑦
24土	○
25日	○ 全商情報処理検定①
26月	中間 考 査
27火	
28水	原付講習会 大学合同出前講座
29木	
30金	
31土	外掃

## 課題確認テスト頑張ってください

8月22日(月)	普通科	探究科	スポーツ科学科
8:45 ~ 9:00	SHR		
9:00 ~ 9:30	大掃除		
9:40 ~ 10:00	始業式		
10:10 ~ 10:20	SHR		
10:30 ~ 11:40	コミ英語	総合英語	コミ英語
11:55 ~ 12:45	現代社会		
12:45 ~	昼		
13:25 ~ 14:25	スタディーサポート数学		
14:40 ~ 15:50	スタディーサポート国語		

8月23日(火)	普通科	探究科	スポーツ科学科
8:45 ~ 8:50	SHR		
9:00 ~ 10:10	国語総合		
10:25 ~ 11:35	数学IA		
11:50 ~ 12:40	化学基礎	理数生物	LHR
12:40 ~	昼		
13:20 ~ 14:30	スタディーサポート英語		
14:45 ~ 15:35	世界史	LHR	LHR

## リオデジャネイロ オリンピック！ 【日刊スポーツより <http://www.nikkansports.com/olympic/rio2016/column/rioeyes/news/1695271.html>】

夏休み中、オリンピックでの日本人選手の活躍ありましたが、それもいよいよ終了となります。さて今回のオリンピック開催前、夏季オリンピックのメダル獲得数を出身県別に示したものが上記のURLに掲載されています。長野県出身者のメダル獲得数は、今まで0（ゼロ）でした。ですがここに来て3名の長野県出身者がメダルを獲得しました。（冬季オリンピックでは、飯山南・飯山北高校に関係する先輩が活躍しメダルも獲得しています。）

### 頑張れ日本！ 頑張れ長野！ 頑張れ飯山！

日本は初出場した1912年ストックホルム大会から12年ロンドン大会まで、個人種目で355個のメダルを獲得した。出生地別に見ると最多は東京都と大阪府の28個。福井、長野、沖縄の3県は1個も獲得していない。県民性がメダル獲得に与える影響はあるのか？ ナンバーワン戦略研究所（東京・中野区）の矢野新一所長（67）に話を聞いた。歴史や風土が育んできた県民性が、活躍の要素の1つとなっているようだ。

#### ◆「なんくるないさー」沖縄県

今大会の男子重量挙げでは糸数が4位と健闘したが表彰台には届かなかった。メダルゼロについて「南国気質ですから、粘り強さが無い。“なんくるないさー（何とかなるさ）”の精神が、しょうがないにつながっている」と指摘した。「持久力が大事な競技よりも、具志堅に代表されるボクシングのような瞬発系の方がメダルを狙える」と分析し、糸数の東京五輪でのメダル獲得に期待した。

#### ◆負けず嫌い 福井県

「なんで今までいなかったのか」と首をかしげる。「越前商人が有名で負けず嫌いな県民性。最も多く社長を輩出する県。15年の全国体力テストで小5、中2の男女ですべて1位ですから」と納得がいけない様子だが「商売で稼ぐように教育されているからではないか」と指摘。「貯金額は多いから、成功者が現れたら親が子どもをスポーツマンにさせるかもしれない。10年後にはメダル獲得数1位になっているかも」と予想。女子バドミントン山口のメダル獲得に期待した。

#### ◆寺子屋数1番 長野県

矢野氏は、教育熱心がゆえの低空飛行とみている。「江戸時代、信濃の国は寺子屋が一番多かった。明治時代も就学率が全国一。土地が狭いから親の跡を継ぐより、勉強して昇進するのが望ましいと言われてきた。だから、子供をスポーツ選手に育てていこうとする親があまりいない」。勉強優先の教育方針が影響していると指摘する。

今大会で県出身初のメダリストとなる可能性が高いのが、大町市出生のバドミントン女子シングルの奥原だ。父圭永（きよなが）さんが高校教師、母秀子さんは栄養士という教育熱心な家庭に育った。兄大生さんは医学生、姉未来さんは教師志望。幼いころからバドミントン以外に、水泳、ピアノ、スキーを習っていた奥原は数学が得意で、大宮東（埼玉）時代は海外遠征しながらも学年上位をキープしていた。

矢野氏は「バドミントンなど、粘り強さが肝心な競技は長野県民に向いている」と言う。2度の膝のケガを乗り越え、持ち前の粘り強いフットワークが武器の奥原は「メダルが期待できる」と後押しした。